

# ふれあい 夢 通信

12号

FUREAI YUME TSUUSHIN  
子どもを真ん中に、山口県の教育を考える

山口県教育庁教育企画室  
編集ホットライン TEL083・933・4531



**特集** 完全学校週5日制

ゆとりの中で「生きる力」を  
はぐくむために

平成14年4月から、毎週土曜日を休みとする完全学校週5日制が、すべての公立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、盲学校、聾学校及び養護学校で一斉に実施されます。



# ゆとりの中で「生きる力」をはぐくむために

## 「生きる力」とは

- 子どもが自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力
- 自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性とたくましく生きるための健康や体力

「休日が増えたら学校での勉強の時間が減って、子どもたちの学力が落ちてしまうのでは」と心配する大人たちもいますが、子どもたちの学びの時間は年中無休です。学校での授業だけでなく、家庭や地域で過ごす時間も、子どもたちはそこでの活動や体験を通して、さまざまなことを学んでいるのです。

子どもたちは、それぞれの教科の知識だけでなく、生活の中で必要なルールや思いやり、やさしさといったものも学ばなければなりません。それらは、家庭や地域社会など生活全体で学ぶものです。家庭や地域においても学校週5日制の趣旨を理解し、子どもたちが生きる力を身につけられるよう、ご協力をお願いします。

## 学校では

- 基礎・基本を大切に、「個に応じた指導」を充実します。
- 豊かな心やたくましさ、自ら学び自ら考える力を育てます。

完全学校週5日制のもと、ゆとりの中で子どもたちに「生きる力」をはぐくむことをめざしています。新しい学習指導要領の趣旨を踏まえ、学校が子どもたちにとって充実した楽しい学びの場となるよう学校教育を進めます。

※学校での取組みについては今後もくわしく取り上げていく予定です。

**平成14年4月から、毎週土曜日を休みとする完全学校週5日制が、すべての公立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、盲学校、聾学校及び養護学校で一斉に実施されます。**

学校週5日制は、子どもたちが土曜日や日曜日を利用して、家庭や地域社会の中で生活体験や自然体験、社会体験、文化・スポーツ活動など、さまざまな活動や経験を通して、望ましい人間形成を図るためのものです。

## 家庭では

### ■ 家庭は、すべての教育の原点です。この機会に、 家庭の役割について考えてみませんか。

「家庭は厳しいしつけの場であり、同時に、会話と笑いのある『心の庭』です。」

※「教育改革国民会議」(平成12年12月22日)の報告より

家庭を見つめ直し、子育てに取り組むきっかけとなるように、「家庭教育手帳」、「家庭教育ノート」を配布しています。また、子どもの発達段階に応じた「子育て学習会」や乳幼児子育て電話相談「すくすくテレホン」、テレビ番組「はつらつ山口っ子」の放映などを行っています。



## 地域社会では

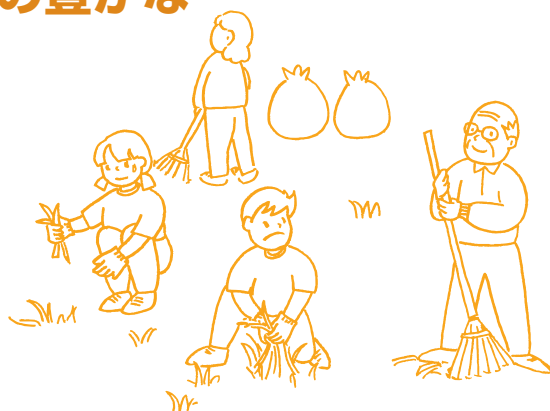
### ■ 地域行事、伝承文化活動など、地域ぐるみの活動 を通して地域で子どもを育てましょう。

各地域では、子どもたちが参加できる地域行事、伝承文化活動などに取り組んでいます。豊かな人間性をはぐくむために、異年齢の子どもたちや大人とのふれあい活動を通して地域で子どもを育てましょう。



### ■ 自然体験や生活体験を通して、子どもの豊かな 人間性を育てましょう。

各地域では、放課後や土曜日、日曜日にさまざまな講座、イベントなどが開かれています。また、公民館、青少年教育施設、美術館、博物館、図書館などで、それぞれの特色を生かした体験活動の機会が提供されています。



# ～県教育委員会からのおしらせ～

## ふるさと学習コンテンツ

### 「知っちょる!?やまぐち」がオープンしました!



URLはこちら  
<http://www.ysn21.jp/furusato/>

全国初の総合的なふるさと学習コンテンツとして、昨年7月から部分的に公開されていた「知っちょる!?やまぐち」がついに全面オープンしました。

単なるふるさと紹介のコンテンツではなく、山口県民としての誇りと一体感をはぐくむことに重点を置いて、クイズやゲーム形式、動きのあるアニメーション、音声(方言)

などを取り入れ、内容を充実させています。また、たくさんの写真や大きい文字を使い、より多くの人に興味をもってもらえるよう工夫をこらしていますので、幅広い学習や活動の場面で活用してください。



高杉 晋作

## 学校サポートバンクの登録者を募集しています ～あなたの知識・経験を学校で生かしてみませんか～



県教育委員会では、県内の公立の小・中・高等学校学、盲・聾・養護学校で教員の学習指導や部活動などを支援していただけの地域の人材の情報をインターネットで各学校に提供する「山口県学校サポートバンク」を運営しています。すでに幅広い年齢層の方が伝統文化や国際理解などのさまざまな分野で登録し、活動されて

【お問合せ】山口県教育庁教育企画室  
 〒753-8501 山口県山口市滝町1-1  
 TEL 083-933-4531  
 e-mail a501001@pref.yamaguchi.jp

いますが、さらにサポートバンクを充実させ、地域社会と学校が連携しながら子どもたちを育てていくためには、より多くの方に登録していただくことが必要です。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

URLはこちら  
<http://www.yssp.pref.yamaguchi.jp/bank/>

## 教育に関する相談窓口の開設について

### ～学校教育などに悩みや不安はありませんか～



教育に関するさまざまなお問合せに対応する相談窓口を開設しました。

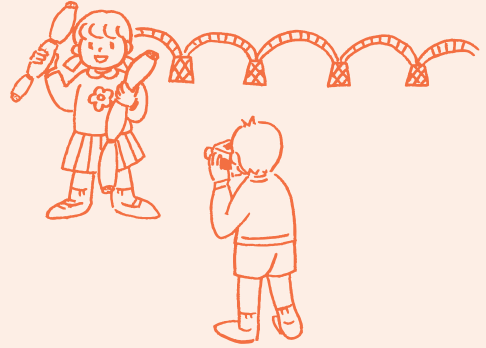
県教委では、これまでも「いじめ110番」や「ふれあいテレホン」など、さまざまな相談窓口を設けていましたが、これらの窓口は、相談内容が限定されていることから、それ以外の相談をどこにすればよいかわからなといったご意見もあり、今回、教育企画室

【お問合せ】山口県教育庁教育企画室  
 〒753-8501 山口県山口市滝町1-1  
 TEL 083-933-4531  
 e-mail a501001@pref.yamaguchi.jp

に相談窓口が開設されることになりました。

この相談窓口は、教育に関することであれば、県教委だけでなく、国や市町村の相談であっても、幅広く相談を受け付け、関係機関と連携を図りながら、問題の解決に努める体制を整えています。

ちょっとしたことで、気がかりなことがあれば、気軽にご相談ください。



## ふるさとじまんCMをつくろう!

岩国市立平田小学校

4年1組の子どもたちが、1年間のふるさと学習のしめくくりとしてコマースシャルをつくりました。

まず、みんなで話し合い、錦帯橋、岩国城、シロヘビ、岩国寿司、れんこんの5つのテーマを決めました。次に、それぞれのテーマについて、グループごとに本やインターネットだけでなく実際に体験して詳しく調べ、ポスターやかるたなどにまと

めました。さらに今回は、もっとたくさんの人に岩国のよいところを知ってもらおうと、ビデオカメラを使って「岩国じまんコマースシャル」をつくることにしたものです。

子どもたちは、はじめは恥ずかしがったりはしゃいだりしていましたが、慣れてくると次第に大きな声ではきはきと話せるようになり、大好きなふるさとを元気いっぱい紹介していました。このコマース



抱えられないほど大きいレンコン!

シャルはクラスのお別れお楽しみ会で保護者にも見てもらうことになっています。

## 科学技術への夢を育てる

田布施工業高等学校メカトロ研究部／田布施町青少年発明クラブ

青少年発明クラブは、創造力豊かな青少年の育成を目指して、全国で年間約10万人の子どもたちが創作活動を楽しんでいるクラブで、県内でも5つのクラブが活動しています。

26名が所属する田布施町青少年発明クラブでは、全日本ロボット相撲全国大会など数々の大会で優秀な成績を収めている田布施工業高校のメカ

トロ研究部といっしょに、電子おもちゃをつくりました。使い捨てカメラを利用した「電流イライラ棒」の製作では、とくに細かい作業が多く、感電にも気をつけなければならないということで、手先の器用さには自信があった子どもたちも苦戦していました。高校生たちの助けを借りて何とか完成させ、スイッチを入れて動かしときには、大きな歓声が上がりました。



お兄さんがあたたかく見守ります。

発明クラブの活動を通じて子どもたちは、ものをつくる喜びを感じ、科学技術への夢をよりいっそうふくらませたようです。

## 体験学習で伝統技術マスター

柳井学園高等学校

今年、創立83周年を迎える柳井学園高等学校は、柳井市にある男女共学の私立高校です。同校では毎年、全校生徒が学年ごとに、地域の歴史や伝統行事を学ぶ体験学習を実施しています。

その一環として、大正時代末期に醤油蔵として建設され、体験工房やギャラリーとして利用されている「やない西藏」で、2年生が民芸品「金魚ちょうちん」作

りに挑戦しました。竹ひごの骨組みに和紙を貼り、口と目をつけて朱を入れ、尾びれをつけてようやく完成させた金魚ちょうちんは、色塗りに独自のデザインが施され、生徒たちの個性さながらにユニークな姿をしたものが数多く見られました。

このような体験学習を通じて、柳井の伝統的な街並みや文化のすばらしさを心に刻み込んだ生徒たちは、生涯



工夫をこらして自分だけの金魚を作りたい!

にわたって「商都・柳井」の風景を忘れることはないでしょう。



## わたしたちは「食」を通じてこんなことを学んでいます。

### 幼稚園では

#### こどもバイキングへようこそ!

宇部市立博愛幼稚園

宇部市立博愛幼稚園では全園児55名が参加して、年に一度の「こどもバイキング」が行われました。

前日からチケット一枚一枚に絵を描いて準備を始め、当日も朝からレストラン会場の飾り付けや看板づ



折り紙できれいな飾りを作りました

くり、テーブル運びを行うなど、すべて子どもたちが力を合わせて作り上げました。お昼になってようやく準備が終

わると、年長さんが年少さんの手を引いて、レストランまで案内しました。

食べる前に、「お皿に取った物は残さず食べること」、「食べたはしで取らないこと」、「友達の分も残しておくこと」といったバイキングのルールやマナーとともに、す



看板いっぱいの絵がみんなを出迎えます。

べての食材にある命の大切さを学びました。

一つのことを達成して自信をつけた子どもたちは、満面の笑みを浮かべて、大好きなメニューをほおぼっていました。



「いつもよりおいしいね」

### 小学校では

#### ビバ!エスパーニャ!(スペインばんざい!)

小野田市立高泊小学校

小野田市立高泊小学校の3年生が、近くにある私立サビエル高等学校のマグダレナ・ビセント先生(マグ先生)を招いてスペイン料理にチャレンジしました。

「ボカディオス」というスペイン料理は、長いバケットパ



交流の始まりは元気なあいさつから。

ンを焼いて切り分け、ハムやバナナなどはさんで食べる、サンドイッチによく似た料理で、子どもたちの間でも「おいしかった」「思ったより簡単だった」「家でもまた作りたい」と大好評でした。

児童たちは前もってスペインの食文化や生活習慣、国の特色などについていろいろ調べていましたが、マグ先生から、「ブエノスタルデス(こんにちは)」、「アディオス(さようなら)」



中身は工夫次第。「次は何をはさもうか」

といったあいさつをはじめ、スペインの文化などについて話を聞き、文字だけでは得られないスペインを発見できました。

子どもたちはこの体験を通じて、実際に目で見、耳



おいしい料理を食べると会話も弾みます。

で聞いて学ぶものがあることを知り、教室の中の海外旅行をぞんぶんに楽しみました。

## 中学校では

### そばで感じるふるさとの味

#### 楠町立万倉中学校

楠町立万倉中学校では、全校生徒が自分たちで育てたそばの実を使って、そば打ちを体験しました。

まず9月上旬、学校の近くにある休耕田に、全員が裸足になってそばの種をまきました。太陽の光をいっぱい



広い畑に種をまくのはたいへんな作業です。

浴びて大きく成長したそばは、11月には収穫の時期を迎え、乾燥、手作業での脱穀を経て、そ

ば粉の材料になる「<sup>げん</sup>玄そば」がようやくできあがりしました。

2月に入って、地元の「そばの会」の方々を講師に招き、そばの打ち方を教わることになりました。

微妙な水加減をしながら生地をこねる作業



脱穀は手作業で少しずついいない。

は、神経と力を使うたいへんな仕事でしたが、めずらしさとうれしさからか、みんな疲れも見せず楽しんでいました。中でも、平たくのばして折りたたんだ生地を大きな包丁で細く切りそろえる作業は意外に難しく、さまざま



お店のように細くはなりません・・・。

まな太さの個性豊かな麺ができあがりしました。

子どもたちは自らの手で作り上げる喜びや、

自然の恵みに感謝する気持ちをかみしめながら、打ちたてのそばをみんなで味わいました。



「食物を米末にしゃッッ!!」ってよくするのは、こゆう意味もあるかもね

## ひと言

### 口は災いの元・・・にもなる



山口県健康福祉センター  
所長  
上村 輝夫

数年前から保健医療の分野では「成人病」が「生活習慣病」に変わりました。このことは、年齢を重ねることが病気をつくるのではなく、長い間の好ましくない生活習慣が病気をつくるという考え方を意味します。

生活習慣の中でも食べ物と健康はとても関係が深いことは「食同源」という言葉でも知られていますし、子どもの時から食を通じて心の健康のはぐくみも大切視されています。

最近の日本成人の保健動向を見るにつけ、今こそ、全国的に欧米化傾向となってきた食生活を見直し、子どもの時に好ましい食習慣を家庭や地域・学校で取り戻し、しっかり教え込むことが重要だと思います。

まさに、口（酒やタバコなど口に入れるもの全て）は災いの元にもなるのですから・・・。



## イベントカレンダー

**6/1(土)～6/2(日)**  
仲間づくりワークショップ  
～素敵な仲間づくりをしませんか～  
対象/中学生と高校生 定員/20名  
●ふれあいパーク  
☎0827-63-1513

**6/15(土)**  
へんしん!元気いっぱい  
豆っ子スターズ  
対象/幼児とその家族 定員/40名  
●県石城山青少年宿泊訓練所  
☎0820-48-2108

**6/ ( ) から 日間**  
教科書展示会  
中央教科書センター他、県内各会場  
●県指導課  
☎083-933-4607

**7/20(土)～7/21(日)**  
夏だ!親子でアウトドア  
～秋吉台で思い出作り～  
対象/親子 定員/50名  
●県秋吉台少年自然の家  
☎08396-2-0581

**7/27(土)～7/28(日)**  
**8/3(土)～8/4(日)**  
**8/10(土)～8/11(日)**  
ヨットにチャレンジ!  
対象/小学生以上 定員/40名  
●県スポーツ交流村  
☎0833-71-1144

**8/3(土)～8/5(月)**  
われら瀬戸内探検隊  
対象/小学4年生から高校生 定員/30名  
●県大島青年の家  
☎0820-76-0913

**8/7(水)～8/9(金)**  
冒険いっぱい夢いっぱい  
～いかだをこいで無人島に行こう～  
対象/小学4年生から高校生 定員/60名  
●県油谷青年の家  
☎0837-32-1000

## 編集室から

「ふれあい夢通信」の内容を充実させるために、皆様からのご意見やご感想をお待ちしています。今後取り上げたいテーマなどがありましたら、教育企画室までお知らせ下さい。

山口県教育庁教育企画室  
住所 〒753-8501 山口市滝町1-1  
電話 083-933-4531  
ファックス 083-933-4539  
電子メールアドレス a501001@pref.yamaguchi.jp



**4/18(木)～4/19(金)**  
**7/18(木)～7/19(金)**  
天体観測入門

春の夜空を見上げて、自分で天体望遠鏡を操作しながら、春の星座や星雲、星団をながめてみませんか。

対象/一般(小・中学生は保護者同伴)  
定員/20名

●県教育研修所 ☎083-987-1160

**5/25(土)～5/26(日)**  
我ら洞くつ探検隊

家族で洞くつを探検し、洞くつに棲む生物を観察したり、洞くつの神秘の世界にふれたりしてみませんか。

対象/小・中学生とその家族  
定員/40名

●県秋吉台青少年宿泊訓練所  
☎0837-62-0106



**6/1(土)～6/2(日)**  
わんぱくどろんこ塾PART1

地引き網に挑戦しとれた魚で野外炊事。また、どろんこになって畑を耕して芋のつる植え。自然の中で思いっきり遊びましょう。

対象/小学生 定員/40名

●県光青年の家  
☎0833-72-5512

**7/21(日)～7/24(水)**  
ディスカバリー キャンプ

テント泊、移動キャンプやロッククライミングなどを通して、自分を見つめ直し、仲間との信頼関係を考えます。この夏、大自然の中で「新しい体験」をしてみませんか?

対象/小高校生 定員/20名

●県十種ヶ峰青少年野外活動センター  
☎08395-8-0033



**7/29(月)～8/1(木)**  
サマースクール  
イン豊浦ひびきビーチ

～喘息<sup>ぜんそく</sup>なんかに負けないぞ～

県内の喘息児を対象として、治療や検査、専門的な話や相談も行える、県立豊浦養護学校と山口県済生会豊浦町立病院の共催行事です。

これまで「喘息児短期入学入院療法」

として親しまれてきましたが、今の子どもたちにあった内容に大きく変わりました。

喘息で学校を休みがちな小・中学生の皆さん、夏休みの3日間を、響灘を望むすばらしい環境で、仲間たちと楽しく過ごしながら、病気の克服に取り組んでみませんか。

対象/県内に住む喘息の小・中学生  
定員/16名程度

●県豊浦養護学校  
☎0837-72-1331